

研究紀要『災害復興研究』投稿規程

本誌は、被災者支援・復興まちづくり・復興法制度・復興報道・NPO・NGO・災害ボランティアなど災害復興に関する実証的・理念的研究、評論、実践報告、資料解説、講演記録などを掲載する。

- (1) 投稿論文は、未公表のものに限る。
- (2) 投稿資格は、原則として本研究所研究員に限る。また、共同論文は、少なくとも執筆者の一人が本研究所研究員であることが必要である。ただし、研究所研究員から推薦があり編集委員会が認めた日本災害復興学会員である場合、特別に執筆依頼する場合はその限りでない。
- (3) 投稿原稿の採否決定、および修正は編集委員会の審査を経て行われる。ただし、編集委員会が認めるものについては、その限りではない。
- (4) 「関西学院大学災害復興研究」に掲載された文章については、関西学院大学災害復興制度研究所がすべて著作権を保有する。
- (5) 投稿原稿の構成は以下の通りとする。
 - (ア) 第1ページには、原稿の種別（論文、研究ノート、報告、評論、解説、講演記録など）、和文・英文のタイトル、著者名、所属、連絡先を記す。
 - (イ) 第2ページから原稿本文となる。本文冒頭には和文タイトル、著者名、和文要約、キーワードを記す。
 - (ウ) 論文の場合は、最終ページに英文の論文タイトル、英文のアブストラクト、英文のキーワードを記す。論文以外は不要。
 - (エ) 要約は、和文は500字程度、英文のアブストラクトは100～175語、キーワードは3～5語とする。
- (6) 投稿原稿はワープロ打ち・横書きを原則とし、A4用紙で横40字（全角換算）、縦30行とする。原稿量の目安は、次の通りとする。

論文・研究ノート・報告	20,000字～30,000字
解説・評論	5,000字以内
- (7) 投稿原稿は、電子データ（CDもしくはFD）とプリントアウトした副本3部を添付すること。
- (8) 電子データ、副本は採否にかかわらず返却しない。



【略歴】

岡田 憲夫（おかだ・のりお）

1947年4月生まれ。2013年4月から2016年3月まで関西学院大学総合政策学部教授 兼 災害復興制度研究所所長。2017年2月よりドイツ・ポツダムの持続的発展学・国際高等研究所（IASS）のフェローを務めている。

一般社団法人・日本地域まちづくり実践士協会理事長（2017年1月まで）なども務める。

1970年3月京都大学工学部卒業、1972年同工学研究科修了。鳥取大学教授、京都大学防災研究所教授、同所長、熊本大学教授・減災社会実践システム研究教育センター長を経て、2013年から

現職。土木学会論文賞、日本リスク研究学会賞、カナダ・ウォータールー大学名誉工学博士授与、ウォータールー大学 TD Walter Bean Award, 国際総合防災学会（IDRiM Society）Distinguished Research Award などを受賞。日本自然災害学会会長、大阪府都市計画審議会会長、Member of OECD High level Advisory Board on the Financial Management of Catastrophesなどを歴任。現在は英国 Northumbria University 客員教授、国際総合防災学会（IDRiM Society）会長、一般社団法人・日本地域まちづくり実践士協会理事長なども務める。

著書に『総合防災学への道』『ひとりから始める事起こしのすすめ——地域（マチ）復興のためのゼロからの挑戦と実践システム理論・鳥取県智頭町30年の地域経営モデル』『地域からの挑戦——鳥取県・智頭町の「くに」おこし』などがある。

災害復興研究 別冊 岡田憲夫先生退職記念

2017年3月31日 発行

発行者 長岡 徹

編集 関西学院大学災害復興制度研究所

所在地 〒662-8501

兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

TEL. 0798-54-6996

制作 関西学院大学出版会出版サービス